



「第52回男子 第39回女子 全宮古中学校駅伝競走大会」 男子は25年ぶり県大会出場!! 女子も大健闘!!



第52回男子 第39回女子 全宮古中学校駅伝競走大会の様子

10月29日に行われた同大会、女子の部が先に行われ9時にスタート、バスケット部を中心に夏休みからの練習の成果を発揮し、各区分において粘り強い走りで大健闘しました女子に引き続き、10時半にスタートした男子は、県大会出場を懸けて、各区分で他の学校と熾烈な争いを展開、抜きつ抜かれつの大接戦となりました。最終的には、アンカーを務めた2年 村吉陸空君が3位でゴールし、第27回大会(平成9年)以来、25年ぶりとなる県大会出場を決めました。今大会に向け、女子は2区を走った3年 砂川美海さん、男子は1区を走った3年 根間治寿くん、洲鎌斗輝くん、3名の3年生が練習の段階からチームの中心となって1、2年生のメンバーを引っ張ってくれました。本大会において、大きな成果をもたらしてくれた男女3名の3年生に、とりあえずは労いの拍手を送ります。男子は、次なるは国頭路での県大会(11月19日)、練習の方もさらに白熱してきており、国頭路でのさらなる健脚・健闘を祈ります。



★本大会における「区分賞」 2区2位 下地 朔くん(2年)・3区3位 伊敷音杏くん(1年)

下中生徒「文化面」でも躍進続く

まさに魅せる演技「与那覇のヨンシー」で躍動!

11月1日 宮古地区中学校総合文化祭(午前)が行われ、本校からは生徒代表挨拶・司会、ヨンシー、太鼓演奏等に出演、まさに「下中デー!」たかさんの出番・役割をいただきました。特に、文化祭前日に地域の保存会の皆様からご指導いただいた3年男子のヨンシー、動きに躍動感、一体感があり、心が1つになって魅せる演技が披露されていました。生徒達にとって、ダンス等の表現が好まれ主流になりがちですが、伝統芸能の良さやそれを継承していこうとする3年男子の心意気をとても感じました。



与那覇のヨンシー

保存会の皆さん

んきやんじゆく

友利ひとはさん「最優秀」地区童話・お話・意見発表大会

11月7日 第55回宮古地区PTA連合会主催童話・お話・意見発表大会で、2年「友利ひとは」さんが、「古(いにしえ)のころをつなげるために」という演題で意見文を堂々と発表し、見事「最優秀」を受賞しました。幼いころから琉球舞踊を習い、その「うむい」を伝承していきたいという熱い思い、また、その魅力を伝えるために、「小さな発見」を持たせることが大事であること等、自分なりの考えをしっかりと述べていました。発表内容が優れていたことはもちろん、登壇してから降壇するまで、所作をわきまえた立ち居振る舞い等、まさに琉球舞踊で培った表現力の全てが発揮されていました。堂々の「最優秀」! 本当におめでとうございます。



管打楽器コンテスト・U-14県トレセン大会

10月23日 宮古地区管打楽器コンテスト(アンサンブル部門)が行われ本校からも吹奏楽部の2組計6名の生徒が参加し、管楽器5重奏で「フラワークラウン」を軽快なリズムで演奏してくれました。出場した2組の内1組が金賞を受賞し12月3日の県大会に出場することになっています。県大会出場者 羽地春果・上地彩月(1年) 砂川夏穂・砂川寧々・山下真由(2年)



★10月に開催・発表された各種コンクール入賞者★

- ★2022年度 全国暴力追放運動用標語(地区審査) 最優秀 饒平名祐大(3年)
- 優秀賞 岩瀬暖之(3年) 佳作 上地らな(3年)
- ★2022年度 サシバ俳句コンテスト 佳作 石嶺太郎 ヌジュるり 本村穂佳(3年)

入賞おめでとうございます

「学校の守り神」新拝所へ引っ越し

10月13日 9月に始まった擁壁工事に伴い新しい「拝所(祈願所)」が完成しました。この日、宮古島市教育委員会施設課の皆さんの立ち会いの下、祈願を行い引っ越しを無事済ませました。これからも学校の安全と生徒全員の活躍をきつと支えてくれるでしょう。



10月15・16日の両日 沖縄県選抜中学生U-14トレセン大会が豊見城陸上競技場を主会場に行われ、宮古代表チームのメンバーとして2年喜屋武透也くん、佐久川藍希くんが大会出場を果たしました。

